



2019-2020年度 主題

国際会長： Jennifer Jones 「より良い明日のために教を築く」
 アジア太平洋地域会長： “Action!”
 田中 博之（東京多摩みなみ）
 東日本区理事： 山田 敏明（十勝） 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 湘南・沖縄部長： 森田 幸二郎（沖縄） 「ワイズを社会に広める再構築をする」
 クラブ会長： 今城 高之 「奉仕する、みんなちがって みんないい」
 ～まずは隣人から～



今月の聖句

神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。

(エフェソ書4：1-3)

2019年7月本例会

日時:7月26日(金) 18:30～
 場所:都築区「かけはし都筑」
 司会:横田孝久、受付:今城宏子～
 議事～

- ①開会点鐘 会長
- ②ワイズ ヲグ・ワイズ の信条
- ③今月の聖句 相賀先生
- ④会長挨拶 会長
- ⑤ゲスト・ビザター 紹介 司会
- ⑥定期総会
 - ・2018-19年度決算
 - ・2019-20年度予算
 - ・2019-20年度活動方針
 - ・他
- ⑦Challenge2022対応
- ⑧Happy Birthday
 - 岡田美和 (7/11)
 - 杉本千津子 (7/12)
 - 三木直子 (7/22)
 - 今城高之 (7/31)
- ⑨懇親会食会 “ガブリエル”

※新年度になりました。
 会費納入はお早めに！

振込先：横浜銀行菊名支店
 口座番号：1330228
 口座名：横浜つづきワイズ・・

年度が変わり、いよいよ2019-2020年度が始まりました。

新年度第1号の巻頭メッセージを寄せてくれたのは、2018-2019年度のクラブ会長を務めた岡田勝美さん。岡田さんは、チャーターメンバーであり、3回目の会長を立派に務められました。1年間は無役（直前会長のみ）でクラブライフを楽しんで頂きますが、弱小の当クラブでは、早晚お役が回ってまいります。それまでに十分英気を養って頂きますようお願いします。（編集子）

《巻頭メッセージ》

「明日来る？」

「明日来る？」とは「来週の火曜日には、また来てくれる？」の意味です。



A君は毎週同じように聞くのです。かわいい可愛いA君です。私は毎週火曜日に十数年前から障がい者作業所にボランティアで通っています。A君とは昼休みにはオセロをします。最初は相手にならずわざと負けていました。ところが今は強いのです。他人は私がボケたのだろつと言いますが、A君が強くなったのです。たまに私が勝つと「強いなあ！」と褒めてくれます。

障がい者作業所にはいろいろな人がいます。朝の迎え入れ、体操、朝の会、作業、昼食また作業、終わりの会、そして送迎の見送りとなります。私も歳ですので、大きな声が苦手になってきました。繰り返しの大きな声はもう体力の限界を感じます。

またB君がいます。私に寄ってきてはプツとオナラをします。私の反応を見てまたします。よくそんなに出るもんだと思うくらい。あるとき、そのB君が後ろから肩に手をかけてきたのです。普段は一言も話さないB君なので、ビックリしました。B君ももう5年になります。Cさんがいます。ある女性職員をじっと見つめるCさんの瞳。純真というか、いとおいしい恋人を見つめるようです。私はCさんの何とも言えない眼差しにしばらく見とれてしまいます。Cさんはその女性職員の何時もの自分に対する優しさを感じているのでしょうか。一人ひとりに声をかけ、ふれ合いながら一緒に作業をして、共に楽しい一日を終えたいです。体力の限界を感じますが、喜び元気をもらっています。「明日来る？」「行くよ！」 来週の火曜日には元気を出して、みんなにまた会いに行こう。

岡田 勝美

《6月本例会報告》

日時：2019年6月28日（金）18:30~20:30

会場：かけはし都筑

司会：岡田美和 受付：岡田勝美

参加者：今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、久保、杉本
 胡麻尻、鈴木 K・S、福島、三木、山中、横田
 ゲスト・ビジター：
 林茂博、久米康子、中村純子、高松 満至

- ◇ 2年間休会していた林 茂博さんが久しぶりに出席されました。再入会の可能性もありうるということで参加者大いに盛り上がりました。
- ◇ 新設の横浜つづみワイズメンズクラブからも2名参加され、早速のクラブ間交流が実現しました。

1)開会点鐘 ワイズソング・ワイズの信条の唱和。今月の聖句・祈祷は相賀牧師急用で鈴木Sが代読と祈祷を行いました。



2)会長挨拶とゲスト・ビジターの紹介。

3)卓話は「YMCAにおけるエキュメニズム」をテーマに鈴木Sが行いました。先に「YMCA史学会」での講演で注目されたテーマです。詳細は配布資料に譲りますが、概要は以下。

- 定義の説明に引き続き、「YMCA運動におけるエキュメニズムの歴史」に話が進みました。
- 1855年の「パリ基準」が現在のYMCAの基本理念であり、「イエス・キリストの精神が広く青年の間に生かされるよう、その努力を結集する。」こと。
- YMCAエキュメニズムの推進エネルギーとして「イエスの教えに対する共感」と「実践への使命感」があること。

- 「宗教の枠を超えて隣人、特に差別され抑圧されて苦しむ社会的弱者へ仕えることへの使命感と連帯感」⇔人間存在（神）に対する畏敬
- 最後に「都市YMCAの活動に見るエキュメニズム」をあげられました。
 - ・災害時における都市YMCAの救援活動
 - ・都市YMCAの国際交流活動
 - ・日中韓YMCA平和フォーラム
- 卓話から、このワイズ（YMCA）の理念の上に、人と人との繋がりを大事にし、楽しいクラブ活動をしていきたいと改めて思いました。

4)報告

- ・横浜つづみクラブ・チャーターナイトについて（久保）
- ・仮決算報告（鈴木K）
- ・次年度クラブ役割分担表（今城T）
- 本例会司会、受付、プリテン巻頭メッセージの確認をお願いした。
- ・YMCA報告（山中北Y館長）6月プリテン参照

5)Happy Birthday 横田孝久（6/10）

6)各種P R



・T
 K Bより新クラブへ移籍の久保ワイズへ贈り物進呈

※例会



《報告》 TKBカード作り

6月カード作りには大きなサプライズがありました！
 林理子さんがようやくギブスから解放され、すっきりと晴れやかに登場！
 さらに辻孝子さんが変わらぬ艶やかさで、にこやかに登場！
 なんと嬉しいサプライズでしょう。TKB皆で感動したのはもちろんのこと、会場「夢カフェ」の中村さんやPoppyの皆さんたちからも喜びの歓声が上がりました。
 孝子さんの復帰は皆の夢でしたので、辻剛ワイズの愛情あふれるエスコートによって実現したことに心からの感謝でした。かなり長い時間を7月のお誕生カードに張るための金魚制作にご夫妻で取り組んでくださり、お陰様でいつもより早く作業が終わったことでした！しばし、お茶とお菓子で歓談の時間を過ごすこともでき、恵みに満ちたひと時となりました。

これからもご無理のない範囲でご参加頂けることを願っています。
 (今城宏子 記)



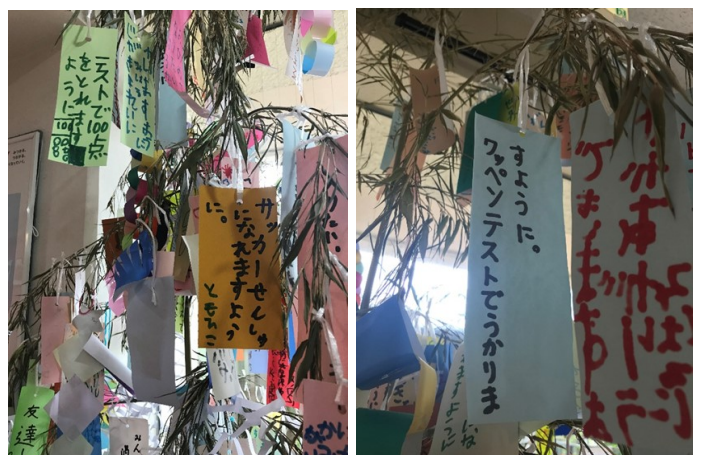
辻孝子さん（前列左）と林理子さん（前列中央）をお迎えして

被災地に贈る7月のバースデーカード



《北Y便り》 北YMCA館長 山中奈子

7月7日は七夕でした。YMCAのロビーには毎年笹の葉が飾られます。この笹は会員の方のお宅から毎年いただいているものです。ロビーに1週間、短冊を置いておくと、子どもたちがたくさんのお願い事を書いていってくれます。「ワッペンテストでうかりますように」「テストで100点がとれますように」「サッカーがうまくなりますように」など子どもたちの夢はたくさんあります。保護者や成人会員の方々も書いてくださっています。その中に「もう戦争は嫌です。戦争のない世の中にしてください。」という80歳の成人会員の方の短冊もありました。8月には終戦記念日がやってきます。戦争の恐ろしさを伝えるだけでなく、他人を思いやる気持ち、寄り添う気持ちを感じてもらい、平和を考える一つの手段となっていければと思います。



(6月のデータ)



例会出席	18名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	14名	月間出席数	14名	使用済み切手	0	0
ビジター	3名	メーキャップ	1名	スマイル	19,000円	131,646円
ゲスト	1名	月間出席率	88%			



《特別投稿》

碍

辻 剛

・皆さん、この字、なんと読むかご存知ですか？これは「がい」と読みます。

私の溪流釣りの師匠、S氏の大学の先輩に豊田徳次郎氏という方がおられます。大手商社に勤務された後、現在は自称『「障碍」「障碍者」表記研究家』という肩書で活躍されているそうです。先日、S氏に会ったとき豊田さんの取り組みについてお聞きし、その内容に少し興味をもちましたので豊田氏の書かれた「碍の字を常用漢字に」という小冊子をいただき目を通して見ました。

・豊田氏によれば「害」は字義が「害する」、語源は「ひとを殺める」であり、「碍」の字義は「妨げる」、語源は「岩が旅人の行く手を妨げる」だそうです。(白川静編「字統」)。

このように「害」と「碍」とでは意味が全く違くと指摘しています。従って、豊田さんは「障害」や「障害者」という表記は、「障碍」、「障碍者」といふように使われるべきである、と主張されています。

・「害」には否定的印象が強いとして、「障害」という「害」の字が含まれている表記が不都合であることは、今や関係者の間では共通の認識になっています。

自治体においては条例や部署名等に「障がい」を使用する例が各地で見受けられます。一方で、「碍」が常用漢字化されれば、それを使用する方向で検討するといった自治体もあります。まずは「碍」を常用漢字に加え、「障がい」等と同じ条件で表記の検討が行われるのが望ましいのです。

・ではなぜ「障碍」「障碍者」は使われないのでしょうか。

江戸末期に日本で「障害」という表記が誕生して以降、1990年代末に多摩市が「障害」、「障害者」の表記に疑問を呈するまで、障碍のある人を含め、日本国民の関心事ではなかったようです。多摩市は「障碍」、「障碍者」への正常化を検討しましたが、「碍」が次の常用漢字表へ追加されるまでは、次善の策として「障がい」、「障がい者」を公式に採用することにして今日に至っています。

・この件が国会で採りあげられたのは2007年にある議員が「障碍」の正当性を主張したのですが、当時の安部首相の答弁は「常用漢字への追加が先」というものでした。

法律や国の公用文で使う漢字は、常用漢字表に基づいているからです。

最近では、2018年11月、2020年の東京パラリンピックを見据え、法律で障害を「障碍（がい）」と表記できるよう「碍」の1字を常用漢字表に加えるよう求めた衆参両院の委員会決議に対し、文化審議会国語分科会は、追加の是非の結論を先送りし、「常用漢字表は自治体や民間組織が『碍』を使うことを妨げるものではない」とする考え方を示しました。

(注) 一番直近の常用漢字表の改定が行われたのは、平成22年11月30日のことで、これは二十九年ぶりのことだったそうです。

・一方、文化庁の担当者は「次の常用漢字表の改定がいつかは決まっておらず、1字のみ追加した前例はない」と説明しています。

これらの動きを見ますと、東京オリンピック・パラリンピックを控える現時点でも国のスタンスはこれまでと同様、以下の通りだと思われる。

- ①常用漢字表にはただちには追加できない、
- ②従って、法令は当面「障害」とする、
- ③ただし、地方公共団体や民間の組織において、「碍」と表記することは妨げない。

・この表記をめぐる議論では、「表記だけ変えても仕方ない」、「差別や偏見を取り除くことが先決」というような意見がある一方、「言葉を変えると意識や社会のシステムが変わる」、「『害』を不快に思う人がわずかでもいるなら配慮すべき」といった意見もあるようです。

見慣れない字なので違和感を持つ方もいるかも知れません。いずれにしても、ごく近い将来、国が主導して官公庁を含めすべてが「障碍」、「障碍者」に変更することは期待できないのが現状だと思えます。

私自身まだ勉強不足でこの文も豊田氏の意見の受け売りの域を出ていませんし、「碍」を使用すべきだと大声で主張するほどの自信もありません。現在、「つづきクラブ」は「障がい」を使うようにしていますが、私自身は弱者に寄り添うクラブの一員として、一歩踏み込んでせめて自分だけでも微力ながら「障碍」、「障碍者」を使ってみようという気持ちにはなっています。そして、「碍」が一般の社会生活において頻繁に使用され、いつか「常用漢字」に選定されることにつながれば幸いだと思っています。

皆さまのご意見をお聞かせください。

(完)

当面の行事予定	
7/19-21	アジア太平洋地域大会（仙台）
7/26(金)	本例会
7/27(土)	第1回部評議会
8/2-4	第26回AIDSフォーラム
8/22(木)	部夏期合同納涼会
8/23(金)	本例会・You & I キックオフ・納涼会
9/3(火)	第86回 Y-Y's協議会(@中央Y)
9/4-6	アジア太平洋YMCA大会(@東山荘)
9/10(火)	事務例会
9/27(金)	本例会
9/28(土)	第9回You & I コンサート

2019-2020年度 横浜つづきクラブ 役員	
会長	今城 高之
副会長	鈴木 茂
直前会長	岡田 勝美
書記	辻 剛
会計	今城 宏子
監事	横田 孝久
力を合わせ頑張ってまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いたします！	

▽いよいよ年度が変わり、クラブ運営も新たなメンバーで取り組むことになりました。とは云え、新役員6人中5人がチャーターメンバー、余り変わり映えしません。となると、会員増強喫緊の課題でしようか▽気が付くと、クラブ恒例の「コンサート」まで残るところ2カ月。「ほーっと生きてんじゃないよ！」と言われぬよう、目を覚まして頑張りましょう▽東日本区大会がおわつたらアジア太平洋地域大会が開かれます。その早い流れになかなかついていけないメンバーが増えてきたのではないかと心配が募ります。

(編集子)

.....編集後記.....